

Business Report 2011

第**54**期 中間報告書

2011年4月1日 ▶▶ 2011年9月30日

Communication & Security

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第54期第2四半期（2011年4月1日から2011年9月30日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

代表取締役社長 **市川 周作**

当第2四半期の概況

2011年4月1日から9月30日までの6ヵ月間（以下、当第2四半期）のわが国の経済は、今年3月に発生した東日本大震災により寸断されたサプライチェーンが復旧し生産活動が回復傾向にあるものの、米国の景気失速懸念や欧州債務問題に端を発した急激な円高の進行や株価が下落基調に推移したことにより、先行き不透明な状況となりました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、雇用情勢や所得環境等は依然として厳しい状況にあるものの、震災直後は抑制された住宅販売活動が徐々に再開されたこともあり、日本国内の住宅販売及び新設住宅着工戸数につきましては、低調ながら緩やかに増加いたしました。

このような状況の中で、当社グループはお客様のニーズに応えるべく、新製品の開発と積極的な営業活動を展開して業績の向上に努めてまいりました。

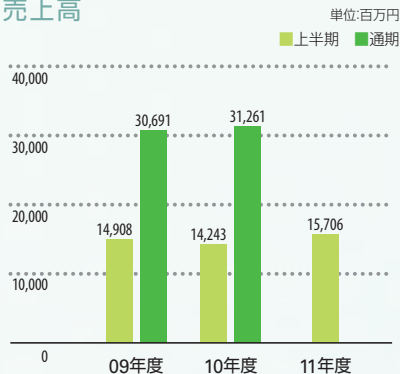
当第2四半期の連結の経営成績は、売上高157億6百万円（前年同四半期比10.3%増）と前年同四半期を上回りました。また利益面につきましては、販売の拡大とともに、コストダウン及び販管費の削減に努めたこ

と等が寄与したことにより、営業利益は5億3千2百万円（前年同四半期は営業損失1億9千9百万円）、経常利益は5億5千7百万円（前年同四半期は経常損失1億9千4百万円）、四半期純利益は2億9千6百万円（前年同四半期は四半期純損失2億4千3百万円）と増収増益となりました。

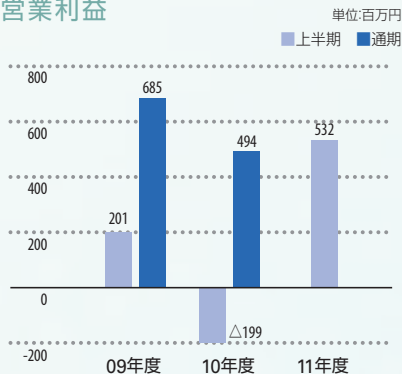
個別の経営成績につきましては、売上高は147億1千2百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業利益は4億3千7百万円（前年同四半期は営業損失4億1千5百万円）、経常利益は3億9千6百万円（前年同四半期は経常損失4億1千3百万円）、四半期純利益は1億8千7百万円（前年同四半期は四半期純損失3億2千万円）となりました。

なお、タイにおいて発生しております洪水に関しまして、当社連結子会社である「アイホンコミュニケーションズ（タイランド）」への影響につきましては、直接的な被害はなく、操業を継続いたしております。今後の商品供給に関しましては、現地の復旧状況を含め不透明な点がございますが、日本国内からのサポートを行う等、影響を最小限とするよう対応を進めてまいります。

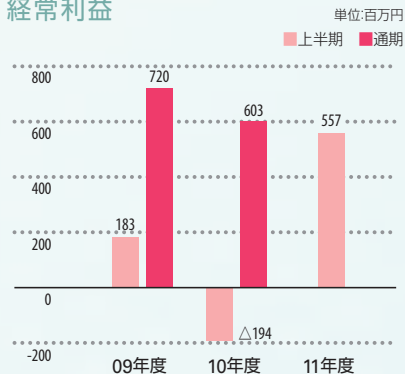
売上高



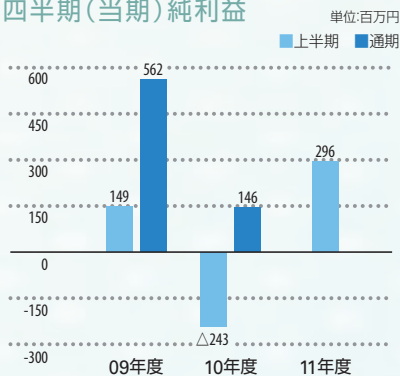
営業利益



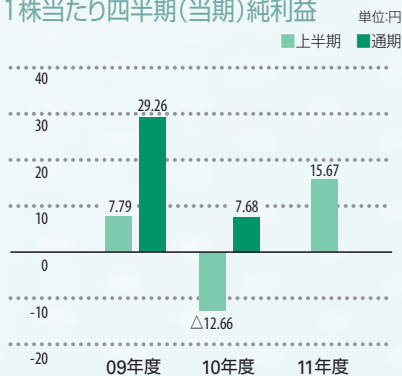
経常利益



四半期(当期)純利益



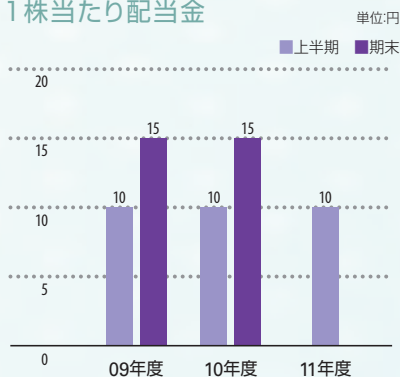
1株当たり四半期(当期)純利益



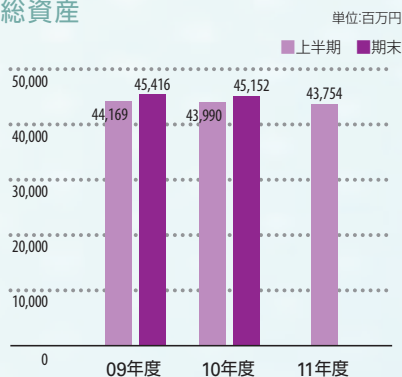
Financial Highlights

決算ハイライト (連結)

1株当たり配当金



総資産



純資産



品目別の状況（連結）

当社グループ（当社及び連結子会社6社）は、一般インターホン機器、セキュリティインターホン機器、テレビインターホン機器、ケアインターホン機器及び情報通信機器等の電気通信機器の製造・販売を主な内容とし、さらに各事業に関連する据付工事、請負、修理等の事業活動を展開しております。

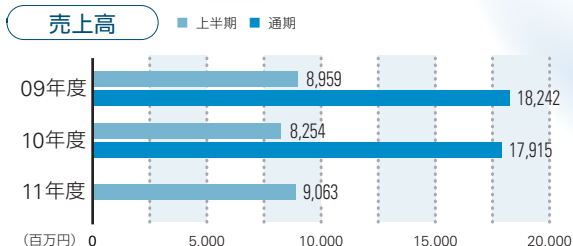
品目別販売状況

品 目	売上高（百万円）	前年同期比増減率（%）	構成比（%）
一 般 イン タ ー ホ ン 機 器	1,862	16.3	11.9
セキュリティインターホン機器	867	△3.3	5.5
テレビインターホン機器	9,063	9.8	57.7
ケ ア イン タ ー ホ ン 機 器	1,930	18.2	12.3
情 報 通 信 機 器	374	19.9	2.4
そ の 他	1,608	4.1	10.2
合 計	15,706	10.3	100.0

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

T v i n t e r c o m m a c h i n e r y

テレビインターホン機器



新型テレビドアホンROCO JL-12

Care intercom machinery

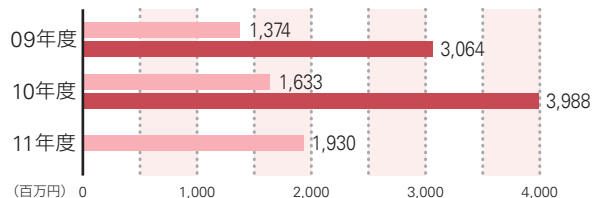
ケアインターホン機器



売上高

■ 上半期 ■ 通期

共通線式ナースコールNFXシステム



General intercom machinery

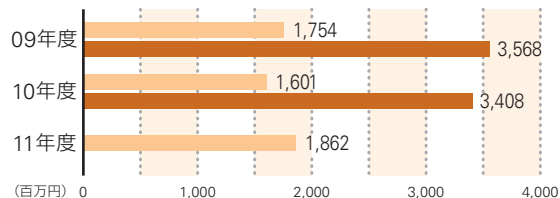
一般インターホン機器



売上高

■ 上半期 ■ 通期

カウンターインターホン



Security intercom machinery

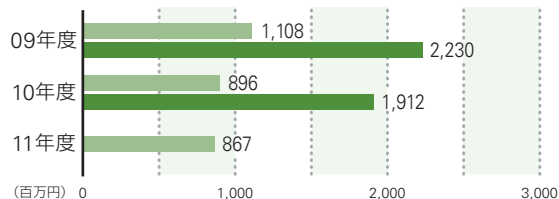
セキュリティ インターホン機器



売上高

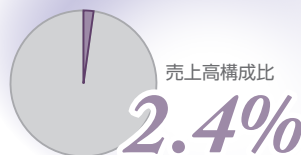
■ 上半期 ■ 通期

自動火災報知設備対応インターホン



Information communication machinery

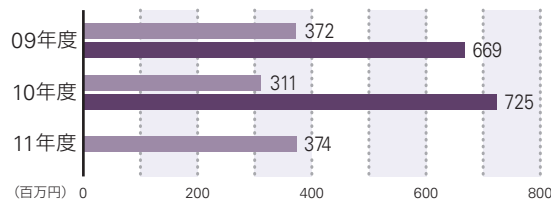
情報通信機器



売上高

■ 上半期 ■ 通期

IPネットワーク対応
インターホンISシステム



海外事業の拡大・強化を推進

当社は、アジアにおける営業の統括拠点づくりを行うため、2010年8月に開設いたしました「シンガポール駐在事務所」を2012年1月に販売子会社として現地法人化を予定しております。シンガポール及びマレーシアにおいては、新規販売ルートの開拓を行うとともに、現地の有力デベロッパーへの営業活動を積極的に行ってまいります。

また、中国における営業の拠点作りを行うため、2011年11月1日には新たに「上海駐在事務所」を開設いたしました。今後、常駐活動拠点として、上海を中心に市場調査及び商品紹介などの各種情報提供活動を積極的に進めてまいります。

一方、生産面においては、稼動を延期しておりました「アイホンコミュニケーションズ（ベトナム）」を昨今の市況環境の変化に伴い、2011年11月1日から稼動を開始いたしました。今後、予想される需要拡大に伴う、生産量の増加への対応や生産コストの削減等を図るとともに、様々なリスクへの対応力を高めることで当社グループとしての競争力のある体制強化を図ります。

当社は、今後拡大する海外市場への対応を進めるとともに、国際競争力のある生産体制を拡充し、グローバル戦略を推進してまいります。



アイホンが環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

当社は欧州RoHS指令・REACH規制に対応し、品質・安全・安心を担保するために、全機種において規制物を含有しない部材の調達を徹底してまいりました。しかし、年々、化学物質規制は世界中で厳しさを増しており、より幅広い対応が求められるようになりました。近年では、商品に含まれるSVHC（高懸念物質）含有情報の開示と管理が義務付けられるようになりました。

当社では、SVHC含有の届出と情報提供を的確かつ迅速に行うために、REACH規則に対応した情報管理基盤の整備を検討し、JAMPIに対応した『クラウド型環境情報交換サービス』を導入しました。このサービスにより仕入先との情報交換がスムーズに行える環境が整い、運用開始から約半年という短い期間でタイ、中国など海外仕入先からの収集率90%、全体の半分に当たる1万点以上の部品・部材の環境伝達シート（JAMP AIS、MS DSplus）の収集を実現しました。

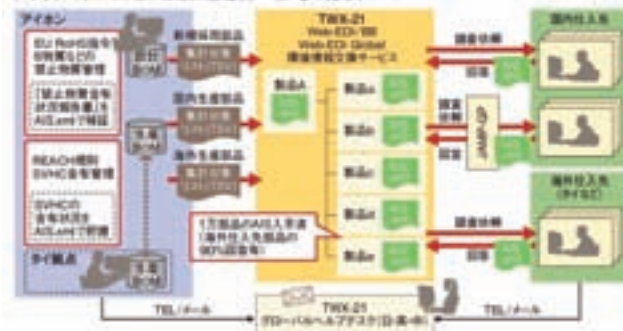
当社は今後も、欧米やアジアなどへの海外進出を積極的に進める一方で、地域環境への調和を図る環境経営の継続的な向上に取り組んでまいります。

アイホン

クラウドによる環境情報交換サービスをグローバルに活用 アイホンがRoHS指令、REACH規則などの環境規制への対応を加速

インターネット検索メーカーのアイホンは、欧州RoHS指令・REACH規則などの環境規制に対応した情報管理基盤として、JAMPI®に対応した製造現場のクラウド型サービス「TWX-21 環境情報交換サービス」を導入した。サプライヤーとの情報交換をスムーズに行える環境が整い、運用開始から約半年で、タイ、中国など海外仕入先からの収集率90%も含め、1万点以上の部品・部材の環境伝達シートである「JAMP AIS」「MS DSplus」の収集を実現した。

アイホンの「TWX-21 環境情報交換サービス」の利用イメージ



『クラウド型環境情報交換サービス』導入について、日経ビジネス（2011年9月5日号）、日経コンピュータ（2011年9月15日号）、日経情報ストラテジー（2011年11月号）に掲載されました。現在は、Web「ITpro Special クラウド時代のIT新潮流」に掲載中です。

会社概況 (2011年9月30日現在)

社名	アイホン株式会社 AIPHONE CO.,LTD.
創立	1948 年 6 月 1 日
本社所在地	名古屋市熱田区神野町 二丁目 18 番地
資本金	5,388,844,000 円
従業員数	1,536 人 (連結) 921 人 (個別)

事業の内容

1. 通信機器、音響機器、電子応用機器並びに各種電気機器の製造、据付工事、請負、修理、売買及び輸出入。
2. 情報通信、情報処理及び情報提供のサービス並びにインターネット接続仲介業。
3. コンピュータシステム機器及びソフトウェアの設計、開発並びに販売。
4. 前各号に附帯する一切の業務。

上記の主な製品品目は、一般インターホン機器、セキュリティインターホン機器、テレビインターホン機器、ケアインターホン機器、情報通信機器であります。

役員 (2011年9月30日現在)

代表取締役社長	市川 周作
取締役	寺尾 浩典
取締役	平児 敦夫
取締役	和田 健
取締役	岡田 修

常勤監査役	梶田 良貴
監査役	坂浦 正輝
監査役	立岡 亘
監査役	石田 喜樹

当社の製品をご自由にご覧いただけます

月曜日～金曜日(除く祝日、夏季休暇、年末年始休暇) 営業時間 >>> 9:00 ～ 17:00



〒456-8666
名古屋市熱田区神野町2-18
(052) 682-3877

地下鉄名港線:日比野駅 2番出口より徒歩約5分



〒112-0001
東京都文京区白山3-2-2
(03) 5684-3411

東京メトロ丸ノ内線:茗荷谷駅 春日通出口より徒歩約12分
都営地下鉄三田線:白山駅 A1出口より徒歩約13分
当ショールームには駐車場のご用意はございません。ショールームにお越しの際には恐れ入りますが、公共交通機関をご利用ください。



〒540-0005
大阪市中央区上町1-5-16
(06) 6765-0352

地下鉄鶴見緑地線:玉造駅 1番出口より徒歩約5分
JR大阪環状線:玉造駅 徒歩約13分

国内ネットワーク



本社



東京支店



札幌支店



豊田工場



大阪支店



AIPHONE S.A.S.
フランス・リッセ



AIPHONE
COMMUNICATIONS
(THAILAND)CO.,LTD.
タイ・チョンブリ県



AIPHONE
COMMUNICATIONS
(VIETNAM)CO.,LTD.
ベトナム・ビンズン省



AIPHONE
CORPORATION
アメリカ・
ワシントン州



愛峰香港有限公司
中国・香港九龍

アイホン本社

海外ネットワーク

連結財務諸表

連結貸借対照表

[単位：百万円]

科目	当第2四半期 2011.9.30 現在	前第2四半期 2010.9.30 現在	前期 2011.3.31現在
資産の部			
流動資産	30,369	30,477	31,277
固定資産	13,384	13,513	13,875
有形固定資産	4,822	5,060	4,931
無形固定資産	0	0	0
投資その他の資産	8,561	8,452	8,943
資産合計	43,754	43,990	45,152
負債の部			
流動負債	4,040	3,705	4,890
固定負債	1,744	1,617	1,678
負債合計	5,784	5,322	6,568
純資産の部			
株主資本	40,500	40,712	40,506
その他の包括利益累計額	△ 3,303	△ 2,868	△ 2,746
少数株主持分	773	823	824
純資産合計	37,969	38,668	38,583
負債純資産合計	43,754	43,990	45,152

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

連結損益計算書

[単位：百万円]

科目	当第2四半期 2011.4.1～ 2011.9.30	前第2四半期 2010.4.1～ 2010.9.30	前期 2010.4.1～ 2011.3.31
売上高	15,706	14,243	31,261
売上原価	9,112	8,341	18,301
売上総利益	6,593	5,902	12,960
販売費及び一般管理費	6,061	6,102	12,465
営業利益(△は損失)	532	△ 199	494
営業外収益	139	146	369
営業外費用	114	141	261
経常利益(△は損失)	557	△ 194	603
特別利益	63	5	0
特別損失	187	190	187
税金等調整前四半期 (当期)純利益(△は損失)	433	△ 380	415
法人税、住民税及び事業税	116	△ 161	241
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益(△は損失)	317	△ 218	174
少数株主利益	20	24	27
四半期(当期)純利益(△は損失)	296	△ 243	146

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：百万円]

科目	当第2四半期 2011.4.1～2011.9.30	前第2四半期 2010.4.1～2010.9.30	前期 2010.4.1～2011.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 202	441	959
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 51	△ 180	△ 476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 293	△ 299	△ 904
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 313	△ 313	△ 258
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 860	△ 351	△ 680
現金及び現金同等物の期首残高	14,866	15,547	15,547
現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	14,006	15,195	14,866

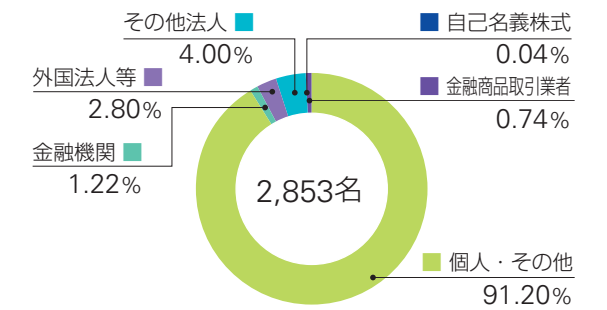
注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

株式の状況

株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	20,674,128株
単元株式数	100株
株主数	2,853名

株式分布状況 (2011年9月30日現在)

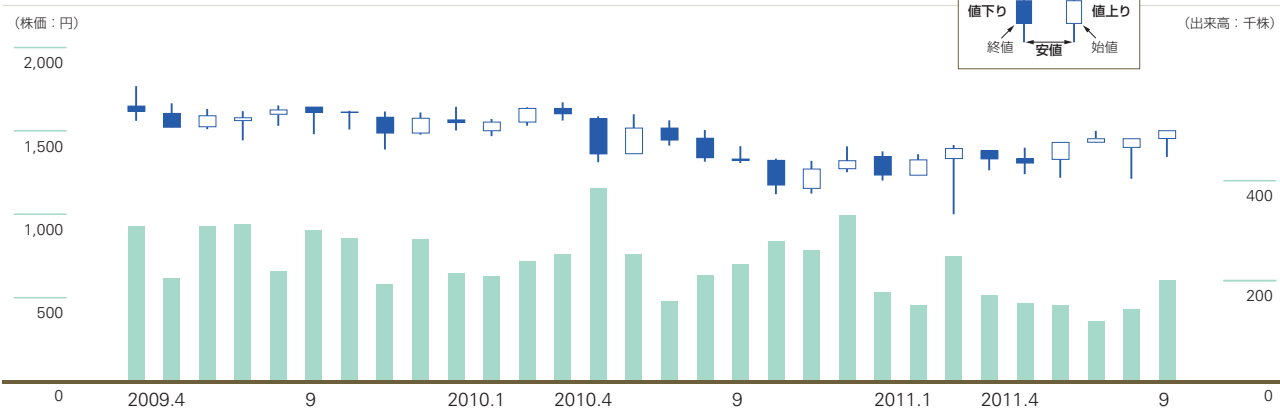


大株主 (2011年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
市川周作	2,793	14.77
いちごトラスト	2,208	11.67
アイホン従業員持株会	800	4.23
株式会社みずほ銀行	726	3.83
日本生命保険相互会社	613	3.24
三菱UFJ信託銀行株式会社	607	3.21
みずほ証券株式会社	485	2.56
第一生命保険株式会社	480	2.53
株式会社三菱東京UFJ銀行	404	2.14
住友生命保険相互会社	364	1.92

注：当社は自己株式1,764千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
また持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価・出来高の推移 (2011年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aiphone.co.jp/bu/koukoku.html (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
- 特別口座から一般口座への振替請求 - 単元未満株式の買取請求 - 住所・氏名等のご変更 - 特別口座の残高照会 - 配当金の受領方法の指定(*)	口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 - 支払期間経過後の配当金に関するご照会 - 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 【手続き書類のご請求方法】 - 音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479（通話料無料） - インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選択いただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 - 支払期間経過後の配当金に関するご照会 - 株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等 にお問合せください。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。製品紹介のサイトでは当社が出展した展示会情報等を掲載しているほか、IR情報のサイトでは決算短信等をご覧いただけます。

<http://www.aiphone.co.jp>



■ 受賞・認証



**品質管理の最高賞
デミング賞受賞**
(1981年11月受賞)



**ISO9001認証
JQA-Q291**
該当製品・標準品・受注品
(1993年10月認証)



**ISO14001認証
JQA-EMO453**
豊田工場サイト
(2006年6月認証)
本社・大宝サイト
(1999年5月認証)

■ 商品の修理受付・ご相談

修理受付センター

0120-037-704

FAX 0120-098-990

●受付時間 午前9:00～午後5:30 ●年中無休(365日)受付
土曜、日曜も受け付けております。

お取り扱いなどのご相談は
お客様相談センター

0120-141-092

(ご注意 携帯電話からのご利用はできません)

●受付時間 午前9:00～午後5:30
●土・日、祝日、およびお盆・年末・年始、ゴールデンウィークを除く。

